

ゆやの子わいわいスナップ!



みんなのひろば

くらすめ〜る

学級通信 **向津具小学校4年**

担任：中澤 尚子先生
児童：19名

笑顔あふれるクラスに

向津具小学校の四年生は、男子五名、女子十四名。互いのよさを生かし、アンバランスな男女比も吹き飛ばす明るく元気なクラスです。体力では何と言っても男子。フットベースボールでは、女子十四人相手に互角に戦う強さを持っています。

合唱ができた時は、とてもうれしそうに笑顔を見せてくれました。四月から数えて三十号になる学級通信名は「スマイル」笑顔あふれるクラスに…との願いでつけた名前です。ほめられることが大好きな子ども達。一番輝くスマイルは、がんばったことを認められた時の笑顔です。そんな素敵な表情に、より多く出会えるよう、私自身、ほめ上手な教師になり、子どものがんばりに応えたいと日々考えています。



歳時記

除夜の鐘

行く年、来る年を告げる除夜の鐘。聞く人の思いはさまざまですが、「来年こそは」と心に誓う気持ちは皆同じでしょう。海外で年越しをした人が「NHKの国際放送『ラジオ日本』で除夜の鐘を聞いたときには感激しました。日本にいたときは何となく聞き流していましたが、外国で聞くとジーンときますね」と、言っていました。除夜の鐘は、人間の百八の煩惱を除くためにその数だけ鐘を打つのだそうです。

では、百八回もの鐘をだれが突くのでしょうか。コンピューターで自動的に鳴らしているのではと思う方が多いかも知れませんが、やはり一つずつ心をこめて突いているようです。最初の一突きは住職が、そのあと信者たちが一つずつ突くところが多いようです。それにしても、百八つの鐘は何時に突くのでしょうか。新年の午前零時に突き始める寺。あるいは、百七つは旧年中

に最後の一つが年が改まる合図という寺。また、百八つの半分は旧年中に、残りを新年にという寺もあります。除夜の鐘にまつわる風習も各地にいろいろあります。「除夜の鐘を聞かずに寝るとしわが増える」とか「掛け売りの取り立ては除夜の鐘が鳴りだす前に」などという地方もあります。

ところで、毎年十二月に行われる「歳末たすけあい募金」は今年で五十回目を迎えました。この募金は、障害のある方や寝たきりのお年寄りの援助などに役立っています。みんな協力したいものです。

